第14回土木と学校教育フォーラム

「ICTを活用した学校教育」への土木学会からの提案

土木と学校教育会議検討小委員会 委員長 藤井 聡(京都大学)

土木とは?

- Civil Engineering
- ・つまり、土木とは「**文明」そのものを形作り**、かつ、 それを高度化していくための取り組み。
- ・より具体的には,

『自然の中で我々が暮らしていくために必要な**環境を整え**ていくことを通じて,我々の社会をより**良い社会へと少しずつ改善**していこうとする営み全体』.

土木施設=インフラ/社会基盤とは?

「みち」

(細い生活道から高速道路,橋等)

「かわ」の施設

(堤防,ダム,水辺環境等)

|みなと|

(港湾および空港等)

「まち」の施設

(公園,広場,街路)

「うみ」の施設

(防波堤,砂浜,護岸等)

「バス・電車 | 等の施設 (交通運輸施設等)

• 「防災」関連施設 (砂防ダム,治水ダム,堤防等)

「エネルギー」施設

(電線、パイプライン等)

• 「上下水」関連施設

(上下水道, 浄水場等)

等の「文明的環境」の諸要素

だから土木学習は……

学校教育の最も大きな目標である、

「公民的資質」 「シティズンシップ」 「社会形成力」

のための根幹をなす学習である。

しかし……

土木学習は今ひとつ広がっていない。

なぜなら、

「土木の重要性が今ひとつ理解されていない」

から……

「土木」の難しさ (1)

- ■しかし I C T で、その困難が**乗り越えられる**!
 - 「新しい空間」がAR、VRで分かる
 - ・「災害のヤバさ」<mark>が分</mark>かる

「土木」の難しさ (2)

- ■土木が対象とする「地理空間の拡がり」
 を、紙の地図だけでイメージすることが難しい。
 (→だから「土木」の重要性がピンとこない)
- <u>しかし I C T で</u>、その困難が**乗り越えられる**!
 - ・ Googleアース、国土地理院 電子国土 が 地理空間の拡がりを直感させる

「土木」の難しさ (3)

■まちづくり、国土づくりには考える要素が膨大にあり、 何が正しいのか考えるのが難しい。

> (→だから「土木」について人々が思考停止し、 その重要性が十分理解されていない)

- ■しかしICTで、その困難が乗り越えられる!
- 「google classroom」を使えば、
 一人一人が自由にネット検索し、考えた上で、
 皆での「アウフヘーベン」がもの凄くやり易くなる。

ICT教育の大きなメリット

• 「紙の教材」は、普及に大きなコスト

•一方、「ICT教材」は普及コストが大幅に小さい

- -HPはいつでもスグにアクセルできる。
- -アプリをダウンロードすれば、スグに使える。

おわりに

- •環境づくりを学ぶ「**土木学習」は**、学校教育における**最も大 切な学習**の一つ。
- ICTは土木学習を強力に支援するツール。
- 「**ICT土木学習**」は、公民的資質・シティズンシップ教育を目指す学校教育に、**大きなイノベーション**をもたらす!
 - 是非、小中学校・高校でのICT土木学習の導入を!

最後に一つ……



公衆向け「土木学習」番組!第一回は「治水」。 Youtubeでいつでもご覧頂けます!